

酵母を用いたプリオント病異種間感染機構の解明

研究開発分担者： 国立研究開発法人理化学研究所 田中 元雅

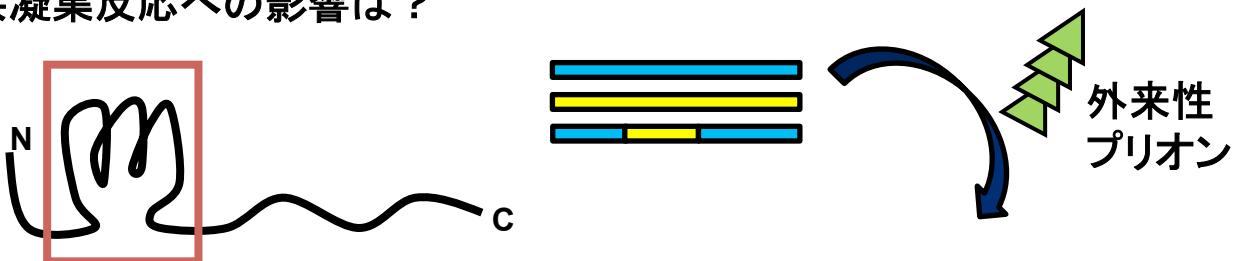
二つの異なる酵母種の酵母プリオントSup35NM



様々なキメラ体の作成

(1)モノマーの構造解析：
モノマー状態での局所構造や揺らぎ
→共凝集反応への影響は？

(2) プリオント感染実験：
異種性アミロイドとの異種間プリオント感染能は？



異種間プリオント感染に重要なアミノ酸配列や因子は何か？

解 説

1. 相同性が50%程度の二種類のSup35NMモノマーを用いて、立体構造の相違点をアミノ酸レベルで詳細に明らかにした
2. 相同性が50%程度の二種類のSup35NMを用いて、異種間プリオント感染に関わるアミノ酸領域を調べ、数残基の重要なアミノ酸を同定した